1年目

施工畦畔準備

土壌表面 強酸性化処理

定植

雑草管理(高刈り)

6月上旬~中旬

① 枯れ草の除去 前年度の枯れ草が繁茂し ていて除草剤が散布しに

くい時

チガヤ対策

② **ラウンドアップ散布** ラウンドアップマックス ロード50倍液 二度がけ

6月中旬~下旬

④ 硫黄華の散布 目安100g/m²

- ・均一に散布する
- ・散布後熊手かレーキで 軽く表面2~3cm混和

6月下旬~7月上旬

⑤ 定植

ティフブレア® タキイ種苗 200穴ピット苗

15株/m²

目安:株間20cm・条間30cm



7月中旬~9月下旬

6 雑草管理

高刈り15cm 刈り払い機 定植後3~4週間間隔 9月末まで3~4回程度

刈草は必ず除去する!



③ 枯れ草の除去・法面の整地

- ・葉に薬剤が作用して枯れ始めたらOK
- ・2週間以上おくと夏雑草が発芽してくる
- ・法面を草ひとつない状態にする(つもりで)



2年目 雑草管理(高刈り)

1回目 4月下旬~5月上旬

2回目 6月~7月 _{雑草の発生} 3回目 8~9月 状況をみて

梅雨明け頃までには密に被覆した上げが完成!

3年目以降 雑草管理(高刈り)

> 年2回程度 春雑草,夏雑草

施工に必要なもの

除草剤

ラウンドアップマックスロード (畦畔法面の雑草除去) 2,4-D「石原| アミン塩 (必要に応じて)

<u>ムカデ芝(センチピードグラス)ピット苗</u> 200穴セルトレー育苗:ティフブレア(タキイ種苗)

入手する2ヶ月前までにタキイ種苗代理店を通じて申し込む。 800株(200穴セルトレー4枚)が最小注文ロット 定植までは、トレーを地面に並べて、毎日灌水する。入手後、 1~2週間以内に定植する。

硫黄華 (微粉硫黄)

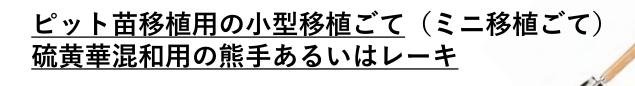
土壌改革(細井化学工業株式会社) 20kg 他に、硫黄末 (トーヤク株式会社) 1kg

土壌pH調整の硫黄資材(土壌改良材)②工業用、農薬資材は用いないこと。



硫黄華散布用具

ステンレス製裏ごし、ステンレス製粉ふるい(60メッシュ) 直径15~20cm(大きめの方が均一に散布しやすい)







前処理が終わった状態

(裸地状態にする)

① 施工畦畔の前処理(5月下旬~6月中旬、雑草を除き法面土壌を裸地状態にする)

除 草:茎葉処理剤の散布(6月上~中旬、ラウンドアップ50倍液) 二度かけ(往復散布)

枯れ草の刈り取り除去(6月中~下旬) ラウンドアップ散布後, 間をおくと夏雑草が発芽し

てくるため、葉が枯れ始めたら刈り取り除去する。

雑草除去:畦畔土壌表面の苔の除去、生存雑草の除去(6月中~下旬)

② 土壌表面酸性化処理(6月中~下旬, 定植の前日までに)

硫黄華施与量:土壌改良資材として販売されている硫黄華(微粉末硫黄)を用いる。

100g/m²が目安. 均一に施工部位に散布すること.

粗粒な土壌(例:真砂土の道路法面)の場合50g/m²とする.

硫黄華の散布と表面混和:

0.5~1mmの篩で法面全体に均一に散布する.

(手袋、保護めがね、マスク着用)

風で吹き飛ぶので地表面の近くで散布する.

散布後、熊手(レーキ)で表層2cm程度の深さで土壌と混和する

(熊手で軽くひっかく程度で良い)

硫黄華施与後2週間程度でpHが下がりはじめ、1ヶ月 後に酸性が最も強くなる。

+壌pHが3~3.5にあれば雑草の発生が抑制される。

注意: 雑草が生えないのではなく発生量が減る

- → センチピードグラスに光がよくあたる
- → 草刈り作業が楽になる(回数も減る)





③ センチピードグラス苗の定植(6月下旬~7月上旬, 定植後の降雨に合わせる)

200穴セルトレー苗:栽植密度(10~15株/m²,横:20~30cm,縦:30cm間隔,千鳥植)

初年度の被覆率を高めるために

15株/m² (株間20cm×条間30cm) を推奨.

株間の幅で印を付けたロープを張ると植えやすい.

高さ1mの畔で3列, 1.5mで4列, 2mで5列が目安.

苗の根が土壌と密着するようにしっかりと押しつけて植える ポイント 深植え:根の部分が全て隠れるように植える



土壌が乾燥しており**定植後降雨が数日ない場合には、活着促進のため定植後に灌水をする**。

乾燥ストレス(紅葉するのですぐわかる)を受けると活着して匍匐伸張までの時間を要する

(この間に雑草が先行して生育してしまうことになる)

定植後数日で新しい根が伸び始め、3~4週頃からランナーが旺盛に伸び始める

4~6週で伸張したランナーが横方向、縦方向の株と重なり始める。







